(Translation)

Japanese U.M. Laid-Open Publication No. 12400/1974

Laid-Open Date: February 1, 1974

Application No. 55683/1972 dated May 12, 1972 Applicant: Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. Title: WIRE DEVICE FOR REMOTE CONTROL

What is claimed is:

A wire device fro remote control comprising an attachment case and a rotatable body which can be freely attached to and detached from the attachment case in a ratatable manner, an inner wire being put through a guide hole provided to at least one side of the attachment case and wound around the rotatable body, the inner wire being fixed to the ratatable body with an engaging body such as a pin so as to be ratatable in a range from 0° to 180°, the rotatable body including an attachment portion, an external power conveying mechanism such as a handle manipulating portion being freely attached to and detached from the attachment portion.

Brief Description of the Drawings

The accompanying drawings show an embodiment of the present invention.

Fig. 1 is a perspective view.

Fig. 2 is a sectional view of an attachment case.

Fig. 3 is a sectional view of a rotating body.

Fig. 4 is a plan view of the rotating body.

Figs. 5A and 5B are explanatory drawings showing the state of attaching a pin to an inner wire.

Fig. 6 is an exploded perspective view for explaining the attachment of the attachment case to an external power conveying mechanism.

1...Attachment case 6, 0

6, 6'... Guide hole

7...Rotatable body

11...Attachment portion

12...Inner wire

13... Engaging body (pin)

69日本分類 59(4)C 1

@ 日本国特許庁

公開実用新案公報

◎実開昭49-12400

庁内整理書号 7146-58 6837 - 31

❷公開 昭 49(1974) - 2.1

客查請求 未請求

ぬりモートコントロール用ワイヤー装置

到実 昭47-55683

22H 昭 4 7 (1972)5月12日

入江武司

門真市大字門真1006松下電器

建業株式会社内

冏 中村八郎

同所

包出 人 松下電器産業株式会社

門真市大字門真1006

弁理士 中尾敏男 外1名

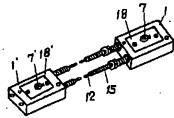
の実用新業登録請求の範囲

・取付ケースに回転体を着脱かつ回転自在に配け、 少なくとも一方向に設けた取付ケースの案内孔よ

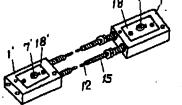
りインナワイヤーを通して回転体に巻装し、かつ 0~180° 範囲内で回転できるよりにピンなど の保止体で上記回転体に上記ワイヤーを固着する とともに、上記回転体にはハンドル操作部などの 外部動力伝達機構を着脱自在に取付ける取付部を 設けてたるリモートコントロール用ワイヤー装置。 図面の簡単な説明

新附図面は本考案の一実施例を示し、第1図は 斜視図、第2図は取付ケースの断面図、第3図は 回転体の断面図、第4図は同平面図、第5図A, Bはインナワイヤーえのピンの取付状態を示す脱 明図、第6図は外部動力伝達機構と取付ケースと の取付けを説明する分解斜視図である。 1 ……取 付ケース、6,64:....案内孔、7.....回転体、11 ·····取付部、12·····インナワイヤー、13····· 保止体(ピン)。

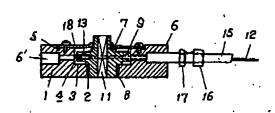
第1図

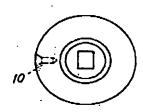


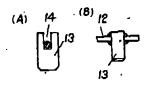
第2网

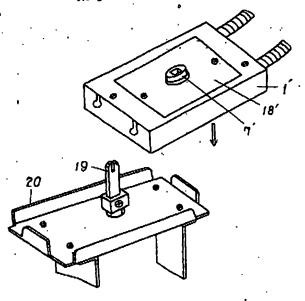


第4図











(1.500 円) 三年

(実用新案登録願 (

5 Л 12 п 昭和 47年

特許庁長官殿

1考案の名称

寀

91

4 10

大阪府門真市天学門真1006審地 {E M

松下道器産業株式会社內

(ほか1名)

3 実用新案登録出願人

理 人

13

大阪府門真市大字門真1006番地 ijī { |E

(582) 松下電器產業株式会社 *!* :: 11 143 īΕ **-F**

松 代表者 **T** 571

大阪府門實市大字門真1006番地 IJτ 1E

松下電器産業株式会社内

(5971) 弁理士 中 尾 敏 男 Ţ:: 13

〔連絡先 電話(東京)453-3111 特許部分室〕

5 添付書類の目録

- 叨 117 (1) 細
- (2) 凶 ini
- 状 委 任 (3)
- 願書副本 (4)



通 通 1 通 1

通

47 055683 49-12400-01 1、考集の名称

:.

リモートコントロール用ワイヤー基置

2、実用新架登録請求の範囲

取付ケースに国転体を増製かつ回転自在に設け、少なくとも一方向に設けた取付ケースの集内とより、かり、サワイヤーを通して回転体に巻乗し、からので回転できるようにできるようにできるようにできるようにできるという。上記回転体にはヘンドル操作部などの外にはヘンドル操作部などの外部の伝送機構を増設自在に取付ける取付部を設けてなるリモートコントロール用ワイヤー装置。

3、考集の詳細な製事

本考案はガス具品等に使用するリモートコントロール用ワイヤー装置に関し、パーナのコッタ様ならびにハンドル操作部などの外部助力伝送機体とおおいて、者の目的とするとはができるようにしたもので、その目的とするとは外部動力伝送機体との取付け、取外しを得らているとともに調節を広くかつ確実に行なえると

うにすることにもる。

5

and the second of the second o

以下その一実施例を図面とともに説明すると(1) は取付ケースで、略中央部に能大部は)と大径の国 転 集 内 火 部 (3) と か ら な る 凹 大 (4) が 形 成 し て あ り 、 凹穴(4)の四転架内穴部(3)の上周銀には象凹部(5)が 形成してある。そして脳転集内大部(8)の無端へ貫 通する案内孔(6)(6)が左右両側より穿散してあり、 そ の 一 方 の 集 内 孔 (6) は ね じ 孔 と し て あ る 。 (7) は 軸 帯 (8) を 軸 穴 部 (2) に 嵌 挿 し て 凹 穴 (4) へ 囮 転 か つ 着 股 唐 在 札 配 般 し た 間 転 体 で 、 外 間 札 は 集 内 異 (9) が 形 成してあり、その一部には外方より内方に向けて 大伽が形成してある。さらにこの面転体(7)には軸 離 (8) に貫通させた固角状孔などの取付部如が形成 してるる。 29 は ― 舞 の 集 内 孔 (6) を 貫 通 し て 国 転 休 (7) の 案内 쁅 (8) に 巻 装 し た イ ン ナ ワ イ ヤ ー で 、 と れ に 閨 着 し た ピ ン Q3 を 上 配 案 内 褥 (e)の 穴 60 に 仮 着 し て集内機(9)に国定してある。

上記ピンはは上端より切得はを入れ、これにインナワイヤーはを嵌入して得着し、インナワイヤーはのアウロに国者してある。はインナワイヤーはのアウ

タワイヤーで、架内孔(6)のねじに模倣してあり、ナット何によって模倣する。このアウタワイヤーの 他 婚は他方の取付ケース (1)'のねじを有しない 架内孔(6)'に製剤してある。また上記インナワイヤーの は前記したように他方の取付ケース (1)'の差額している。 切はアウタワイヤーの ゆるみを防止する 節付ナット、何何'は取付ケース (1)'の 象凹部 (6) にねじ止めした 整板で、 即転 体 (7)'の の 能 駅 を 防止する ものである。

1.

上配構成化かいて一方の取付ケース(1)はハンドル操作部(図示せず)に取付ける配動側とし、他方の取付ケース(1)なパーナのコック(図示せむ)に取付ける従動側とする。この取付ケース(1)のパンドル操作部あるいはコックなどの外部動合、コックを取付けは、コックへの取付けの場合し、コックのガイをはいる。他単に取付部値を合し、コックのだった。他単に変し込み装着するだけでよく、他単に行るえる。

次に操作は駆動物の取付ケース (1) の間 転体 (7) を例

えば及師計方向に回転させると回転体(7)に固定したインナワイヤーはが同方のに回転し、での場合インナワイを回転体(7)を回転をしたいので、でので、でので、でので、でので、でしたといったがでは、なって、ではないが、からではではないが、からではでは、では、なってはではできる。とので、回転体(7)の一部、ではないではではできる。とので、回転体(7)の一部ではからないではではできる。ないではないではない。では、では、ないので、回転体(7)の一方をないのでは、できるができる。ないでは、できるができる。とのでは、できるとのでは、できるとのでは、できるとのでは、できるとのでは、できるとのでは、できるとのできる。

•

以上説明したように本考案は取付ケースの組織を入着要するインナワイヤーをピックを受けたという。というないのである。というないないのである。というのである。というのである。というのである。というのである。というのである。というのである。というのである。というのである。というのである。というのである。というのである。

5

さらに上記インナワイヤーは回転体に上記のでは、 ないでは、 ないで

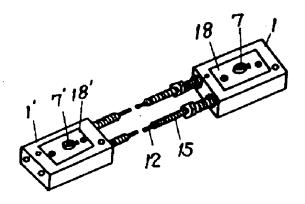
4、 固面の簡単な説明

[.:

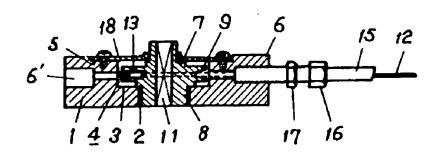
4

級附別面は本考案の一実施例を示し、オー的は 針視別、オ2回は取付ケースの新面別、オ3回は 回転件の断面別、オ4回は同平面別、オ5回(A)(B) はインナワイヤーえのピンの取付状態を示す説勢 図、オ6別は外部動力伝達機構と取付ケースとの 取付けを説明する分解斜視副である。

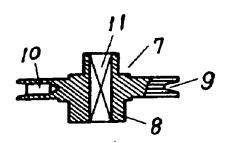
(1) 取付ケース、(6) (6) · 架内孔、(7) · .
... 阳転体、(1) 取付部、(2) インナワ



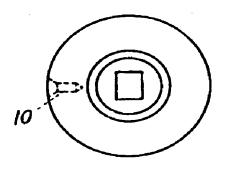
第 2 図



第 3 図



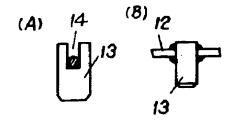
第 4 図

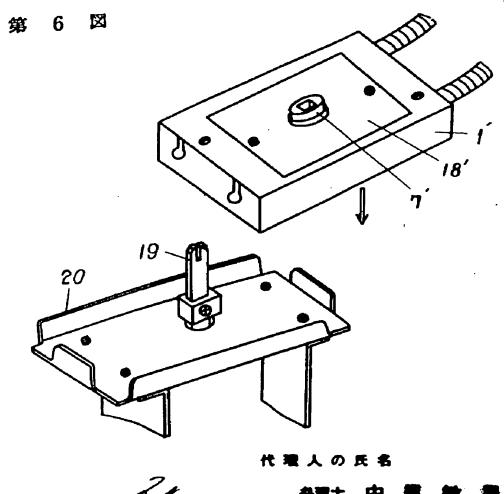


代職人の氏名

2100

第 5 図





12100 7

外理士 中 海 敏 男 49-12400-08

6 前記以外の考案者および代理人

(1) 考案者

(2) 代 型 人

作 所 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内 氏 名 (6152) 弁理士 粟 野 重 孝

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
SKEWED/SLANTED IMAGES
COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
Потивр.

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.